



寿都町 病児保育室 なないろだより

NO.24 令和6年3月発行

3月に入り、いよいよ今年度も残りわずかとなりました。この時期は、一つ大きくなる喜びで、ワクワクしている子もいれば、入園・進級・進学を控え気持ちが不安定になる子もいます。指しゃぶりや爪かみ、チックなど気になる様子が見られた時は、不安な気持ちに寄り添いゆったりと過ごす時間を作るようにしましょう。また、季節の変わり目は自律神経が乱れやすく、大人も子どもも体調を崩しがちです。十分な睡眠とバランスの良い食事を心がけ、規則正しい生活をして健康的に過ごしましょう。

2月の利用状況

胃腸炎	3名
かぜ	13名
インフルエンザ B	4名

3月3日は「耳(33)の日」です！ 気をつけよう、子どもの耳の病気

◎急性中耳炎

中耳腔に入り込んだ細菌やウイルスによって炎症が生じた状態。風邪が原因で起こることが多い。

<症状>

激しい耳痛、発熱、耳だれ等

耳をよく触る仕草があれば注意

<治療>

抗生剤の内服でほぼ完治。重症の場合、鼓膜を切開して膿を出すこともある。



◎滲出性中耳炎

中耳腔に分泌液が溜まった状態。風邪や急性中耳炎の繰り返しで原因で起こる。

<症状>

難聴、耳閉感。痛みはほぼない

<治療>

鼓膜を切開して中の液を排出します。繰り返すようであれば手術を行います。痛みがなく気づきにくいので、耳の聞こえや様子の変化に注意しましょう。



◎耳垢栓塞

耳垢が溜まって耳の穴の中(外耳道)をふさいでしまう状態。

<症状>

耳閉感、耳鳴り、難聴、痒み等

<治療>

耳鼻科を受診し耳垢除去を行います。耳垢水や点耳薬を使用する場合もある。家庭での耳掃除では、耳垢を取ろうとしてかえって奥に押し込まないよう注意。



★イヤホン・ヘッドホン難聴は知っていますか？

イヤホンやヘッドホンを使い大音量で音楽等を聞き続けることにより、音を脳に伝達する有毛細胞が徐々に壊れて起こる難聴です。少しずつ進行していくため初期には自覚しにくいのが特徴。

耳の健康を守るために

- ・連続して聞かず、休憩をとる。
- ・使用を1日1時間未満に制限する。
- ・イヤホン使用中でも周りの音が聞こえるくらいの音量にする。
- ・周囲の騒音を低減するノイズキャンセリング機能付きの物を選ぶ。



失われた聴力を取り戻すには補聴器しかありません。治療法はなく唯一の対処法は予防だけです。日頃から気を付けましょう。



保育の様子



恐竜にたくさんのごちそうを作ったよ♪

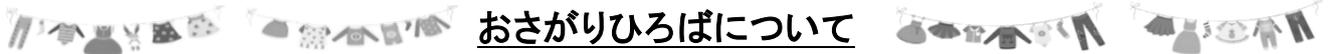


いい湯だなあ〜♪

プリンセスみたいでしょ♡



令和5年度(3/1現在)は延べ271名のご利用がありました。これからも保護者の方々が病気のお子さんを安心して預けられる、またお子さんにとっても安心して過ごすことができる保育室であるよう努力していきます。来年度もたくさんのご利用・ご登録お待ちしております。



おさがりひろばについて

4/1より「おさがりひろば」の無料シェアを開始します。おさがりは、今後も随時受け付けていますので、ご家庭で不要になった子ども用品があれば、寄付して頂けたらありがたいです。ご協力よろしくお願い致します。おさがりひろばの詳細内容につきましては寿都診療所 HP をご覧ください。

♡皆さん、たくさんのご寄付ありがとうございます♡

